

日本共産党 わたなべ結 NEWS

日本共産党 衆院大阪3区国政対策委員長
(住吉、住之江、西成、大正)

LINE公式でも
情報発信中！！

5年間で
43兆円！

暮らし壊す軍備の大拡大はストップを！

給料や年金が上がっているわけでもないのに、物価高が続き、またもや電気代の値上げも！？私たちの生活はあつぱあつぱです。

いま国の政治がやるべきことは、最低賃金を時給1500円以上に引き上げ、消費税を引き下げるなど、物価高から市民の暮らしを守る手立てをうつことではないでしょうか。

しかし岸田政権は、敵基地を攻撃する能力をもつためにトマホークミサイルをアメリカから400発も買うなど、5年間で43兆円もの「軍備の大拡大」に前のめり。これでは暮らしも平和も壊されてしまいます。



▲「大軍拡はストップを！」と訴えるわたなべ結（右）と安田あすか西成区暮らし相談室長（左）（5月3日憲法記念日におこなわれた集会とパレードにて）

軍備の大拡大のための「軍拡財源法案」は廃案に！

ここが
問題

- (1) 医療や年金のための積立金を流用
「防衛力強化資金」を創設し、国立病院機構などの積立金を繰り入れるとしています。なかには、年金特別会計に納付することが法律で決まっているものもあります。
- (2) 東日本大震災の復興財源の半分を転用し、期間を延長
- (3) 軍事費に国債をあてる「禁じ手」にふみだす
戦時国債の発行が侵略戦争の拡大につながったことから、財政法では原則禁止の「禁じ手」。

5年・43兆円で済みません。消費税増税や社会保障切り捨てにつながるのは確実です！



▲呉江浩中国大使（右）と会談する志位和夫委員長（5月5日付しんぶん赤旗より）

日本共産党が日中両政府に提言 —外交力で平和を築く。日本共産党の実践—

日本共産党は日中両政府に対して、これまで両政府が交わしてきた「お互いにとって脅威とならない」などの合意を土台に、今の緊張関係を外交の力で打開する提言を行い、双方からは前向きな回答が寄せられました。



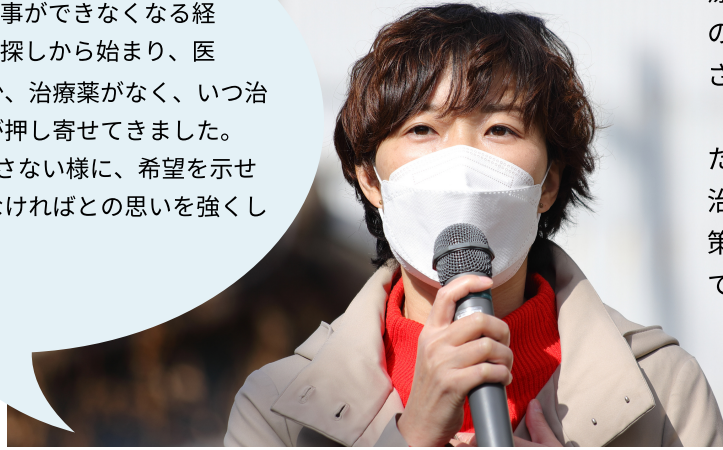
◀「日中関係の前向き
の打開のために」提言
はこちら



◀提言のポイントを解説。
志位委員長のインタビューはこちら

安心して日常生活を送るためにも 政治の責任でコロナ対策・後遺症対策を！

コロナ後遺症で仕事ができなくなる経験をしました。病院探しから始まり、医療費の負担や収入の減少、治療薬がなく、いつ治るのか見通せない不安が押し寄せてきました。1人で悩む人を取り残さない様に、希望を示せる政治・行政に変えなければとの思いを強くしました。



コロナが季節性インフルエンザと同等の扱いになり、無料だった検査や外来診療費用が自己負担となるほか、「宿泊療養」も原則廃止に。医療機関に対する発熱外来や病床確保のための公的支援なども大幅に削減されます。

しかしコロナウイルスがなくなったわけではありません。引き続き政治の責任で命と健康を守るコロナ対策の継続、後遺症対策の拡充を求めています。



◀コロナ後遺症の治療をしている医療機関を検索できるようになりました！

大阪市議会の定数削減で 切られるのは「市民の声」

6月9日までの大阪市議会で、議員定数を現在の81から70に削減する案が出されるとのことです。

大阪市は他の政令市と比べ、すでに2~3人区が異常に多く、今回の定数削減がされれば、24行政区中19区が2~3人区になってしまいます。

議員は市民の声を議会に届けるパイプ役です。議席が減ればそれだけ多様な市民の声、少数意見が議会に届きにくくなります。逆に議席数の多い政党には有利になり、例えば4月の市会議員選挙の結果で試算すると、与党・維新の会は25%の得票で6割超の議席を獲得できることになります。市長・行政をチェックする機能が弱くなる点からも問題アリです。

「しんぶん赤旗」の見本紙をお届けします。「お試し購読」もあります！
気軽にお問い合わせください。

しんぶん 赤旗 	日刊紙 3,497円 ※学生割引 あります	日曜版 930円 週1回発行
電子版 あります  ※日刊紙 のみです	お試し購読 あります 	ネットで購読 申し込みできます 

日本共産党の見解を紹介し 5月15日木津川国民館#1529 発行：日本共産党木津川南地区委員会 電話06-6685-1201 mail: kizugawa@amber.plala.or.jp

【井上ひろし市議のご挨拶】



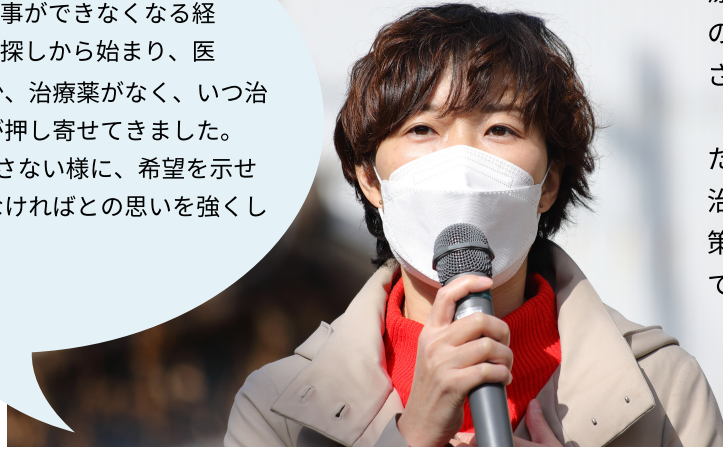
私は、この度の統一地方選挙で大きく3つの公約を掲げて奮闘しました。5月18日から始まった初会議で、早速公約実現に向けた論戦を行ってまいります。

一つは、IR・カジノを止めること。二つは物価高対策・暮らしの応援に全力を挙げること。三つは国の増税・大軍拡を許さず、国の悪政にはっきりモノが言える大阪市に転換をはかることです。

IR・カジノの誘致を巡っては、夢洲の大型開発の予算が異常に膨れ上がり、財政を圧迫する事態になり、完全に行き詰まっています。市民との矛盾は深まる一方です。必ず止められると確信しています。議員定数削減の動きも出ていますが、市民の声を切り捨てる暴走にも正面から立ちはだかってまいります。

安心して日常生活を送るためにも 政治の責任でコロナ対策・後遺症対策を！

コロナ後遺症で仕事ができなくなる経験をしました。病院探しから始まり、医療費の負担や収入の減少、治療薬がなく、いつ治るのか見通せない不安が押し寄せてきました。1人で悩む人を取り残さない様に、希望を示せる政治・行政に変えなければとの思いを強くしました。



コロナが季節性インフルエンザと同等の扱いになり、無料だった検査や外来診療費用が自己負担となるほか、「宿泊療養」も原則廃止に。医療機関に対する発熱外来や病床確保のための公的支援なども大幅に削減されます。

しかしコロナウイルスがなくなったわけではありません。引き続き政治の責任で命と健康を守るコロナ対策の継続、後遺症対策の拡充を求めています。



◀コロナ後遺症の治療をしている医療機関を検索できるようになりました！

大阪市議会の定数削減で 切られるのは「市民の声」

6月9日までの大阪市議会で、議員定数を現在の81から70に削減する案が出されるとのことです。

大阪市は他の政令市と比べ、すでに2~3人区が異常に多く、今回の定数削減がされれば、24行政区中19区が2~3人区になってしまいます。

議員は市民の声を議会に届けるパイプ役です。議席が減ればそれだけ多様な市民の声、少数意見が議会に届きにくくなります。逆に議席数の多い政党には有利になり、例えば4月の市会議員選挙の結果で試算すると、与党・維新の会は25%の得票で6割超の議席を獲得できることになります。市長・行政をチェックする機能が弱くなる点からも問題アリです。

「しんぶん赤旗」の見本紙をお届けします。「お試し購読」もあります！
気軽にお問い合わせください。

しんぶん 赤旗 	日刊紙 3,497円 ※学生割引 あります	日曜版 930円 週1回発行
電子版 あります  ※日刊紙 のみです	お試し購読 あります 	ネットで購読 申し込みできます 

日本共産党の見解を紹介します 5月15日木津川南民報№1529 発行：日本共産党木津川南地区委員会 電話06-6685-1201 mail:kizugawa@amber.plala.or.jp

【つじい大介のご挨拶】



4月9日投開票で行なわれた大阪市会議員選挙ではお世話になりました。議席に届かず悔しい気持ちでいっぱいです。引き続き、掲げた公約実現に全力をあげる決意です。

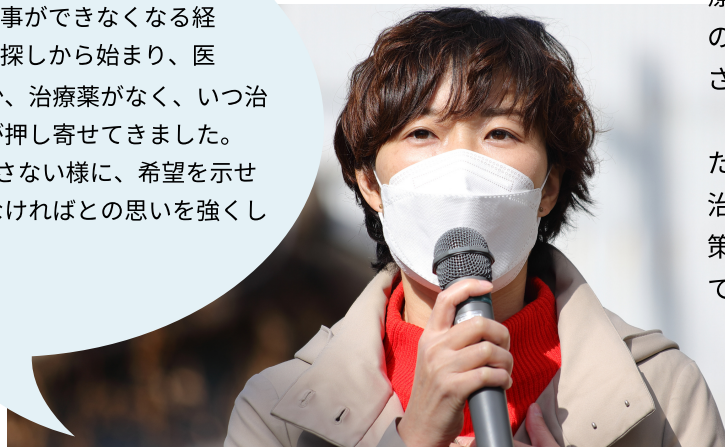
特に、働くみなさんの賃金が物価以上に上がっていない状況があり、選挙中も「給料あげてほしい」の声をたくさん聞いてきました。政治の責任で働くみなさんに希望を届けられるよう、引き続き頑張ります。

また、「選挙後もカジノは止めてほしい」という声が寄せられています。選挙後も早速、国のカジノ誘致認定に抗議のスタンディング行動や学習会に取り組んでいます。今からでもカジノは止めることができます。

「カジノはストップ」の世論と運動を広げるために頑張ります。

安心して日常生活を送るためにも 政治の責任でコロナ対策・後遺症対策を！

コロナ後遺症で仕事ができなくなる経験をしました。病院探しから始まり、医療費の負担や収入の減少、治療薬がなく、いつ治るのか見通せない不安が押し寄せてきました。1人で悩む人を取り残さない様に、希望を示せる政治・行政に変えなければとの思いを強くしました。



コロナが季節性インフルエンザと同等の扱いになり、無料だった検査や外来診療費用が自己負担となるほか、「宿泊療養」も原則廃止に。医療機関に対する発熱外来や病床確保のための公的支援なども大幅に削減されます。

しかしコロナウイルスがなくなったわけではありません。引き続き政治の責任で命と健康を守るコロナ対策の継続、後遺症対策の拡充を求めています。



◀コロナ後遺症の治療をしている医療機関を検索できるようになりました！

大阪市議会の定数削減で 切られるのは「市民の声」

6月9日までの大阪市議会で、議員定数を現在の81から70に削減する案が出されるとのことです。

大阪市は他の政令市と比べ、すでに2~3人区が異常に多く、今回の定数削減がされれば、24行政区中19区が2~3人区になってしまいます。

議員は市民の声を議会に届けるパイプ役です。議席が減ればそれだけ多様な市民の声、少数意見が議会に届きにくくなります。逆に議席数の多い政党には有利になり、例えば4月の市会議員選挙の結果で試算すると、与党・維新の会は25%の得票で6割超の議席を獲得できることになります。市長・行政をチェックする機能が弱くなる点からも問題アリです。

「しんぶん赤旗」の見本紙をお届けします。「お試し購読」もあります！
気軽にお問い合わせください。

しんぶん 赤旗 	日刊紙 3,497円 ※学生割引 あります	日曜版 930円 週1回発行
電子版 あります  ※日刊紙 のみです	お試し購読 あります 	ネットで購読 申し込みできます 

日本共産党の見解を紹介し、5月15日木津川南民報№1529 発行：日本共産党木津川南地区委員会 電話06-6685-1201 mail: kizugawa@amber.plala.or.jp

【安田あすかのご挨拶】



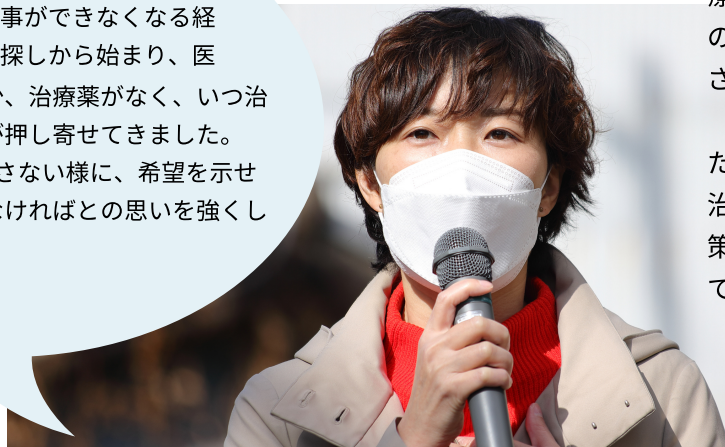
初めて挑戦しました4月の統一地方選挙では、大変お世話になりました。力及ばず、当選することができませんでした。選挙期間を通して、子育てしている母親として、女性として、“当事者”しか訴えられないものがあることを痛感し、それが政治には大切だと改めて感じました。

選挙期間中に訴えたケア労働者の処遇改善や、住吉市民病院跡地に誘致される病院に入院機能「小児科・産科10床ずつ」を大阪市に求めるなど地域医療の充実引き続き取り組みたいと思っています。何より大きな反響の頂いた「加齢による難聴への補聴器購入補助制度」を大阪市でも創設したいです。

住民の願いや思いを市議会に届ける活動を、みなさんとより一層つながり交流しながら、これからも全力で頑張ります。どうぞ、ご協力をよろしく願いいたします。

安心して日常生活を送るためにも 政治の責任でコロナ対策・後遺症対策を！

コロナ後遺症で仕事ができなくなる経験をしました。病院探しから始まり、医療費の負担や収入の減少、治療薬がなく、いつ治るのか見通せない不安が押し寄せてきました。1人で悩む人を取り残さない様に、希望を示せる政治・行政に変えなければとの思いを強くしました。



コロナが季節性インフルエンザと同等の扱いになり、無料だった検査や外来診療費用が自己負担となるほか、「宿泊療養」も原則廃止に。医療機関に対する発熱外来や病床確保のための公的支援なども大幅に削減されます。

しかしコロナウイルスがなくなったわけではありません。引き続き政治の責任で命と健康を守るコロナ対策の継続、後遺症対策の拡充を求めています。



◀コロナ後遺症の治療をしている医療機関を検索できるようになりました！

大阪市議会の定数削減で 切られるのは「市民の声」

6月9日までの大阪市議会で、議員定数を現在の81から70に削減する案が出されるとのことです。

大阪市は他の政令市と比べ、すでに2~3人区が異常に多く、今回の定数削減がされれば、24行政区中19区が2~3人区になってしまいます。

議員は市民の声を議会に届けるパイプ役です。議席が減ればそれだけ多様な市民の声、少数意見が議会に届きにくくなります。逆に議席数の多い政党には有利になり、例えば4月の市会議員選挙の結果で試算すると、与党・維新の会は25%の得票で6割超の議席を獲得できることになります。市長・行政をチェックする機能が弱くなる点からも問題アリです。

「しんぶん赤旗」の見本紙をお届けします。「お試し購読」もあります！
気軽にお問い合わせください。

しんぶん 赤旗 	日刊紙 3,497円 ※学生割引 あります	日曜版 930円 週1回発行
	電子版 あります  ※日刊紙のみです	お試し購読 あります 

日本共産党の見解を紹介し、5月15日木津川国民館№1529 発行：日本共産党木津川南地区委員会 電話06-6685-1201 mail: kizugawa@amber.plala.or.jp

【こはら孝志のご挨拶】



4月の統一地方選挙では当選には及びませんでした。これからもカジノ誘致ストップ、平和・暮らし守るため頑張っていきます。

先日、5月22日(日)に千島公園で行われた大正民主商工会主催の「第17回ふるさと平和まつり」に参加させていただき（大正民商の皆さん暑い中お疲れ様でした！）、わたなべ結さんと一緒にステージでご挨拶をさせて頂き、会場いっぱい参加者の皆さんへ平和の想いを訴えました。

今、岸田政権がすすめる軍事費の倍増は平和を守るどころか、再び日本を戦争する国に変えてしまうことになります。東アジアで平和を守る枠組みを創っていくことが求められており、反戦平和を貫いてきた日本共産党の出番です。

「平和でこそ商売繁盛！」平和守るために力を合わせましょう！